

柏崎原発再稼働「容認」 県議会、知事を信任

予算と付帯決議可決 あすにも国へ同意伝達



東京電力柏崎刈羽原発再稼働に関連する議案を賛成多数で可決した県議会
会 22日午後

県議会は22日、12月定例会最終日の本会議を開き、東京電力柏崎刈羽原発の再稼働を巡り、安全・防災対策に関する広報費などを盛り込んだ2025年度一般会計補正予算案を採決し、賛成多数で可決した。最大会派の自民党県議団と、公明党県議団が原発広報費の議案に関し、再稼働を容認すると判断した花角英世知事を信任する付帯決議案も提出し、賛成多数で可決。知事は23日にも赤沢亮正経済産業相と面会し、再稼働の容認を伝える見通しだ。

県は柏崎刈羽原発6号機 成多数で可決した。その後、再稼働した場合に国から「知事の職務を続けていく交付される3142万円を」とこの是非について『是』財源として、原発の安全対策に関する広報費用などを盛り込んだ個別の一般会計補正予算案を12月定例会に提出。花角知事の容認判断について事実上、是非を問う形とし、自らの進退を県議会の判断に委ねていた。

22日午後に始まった本会議で補正予算案が採決され、議長を除く出席議員50人のうち自民29人と真政には、来年1月20日を軸に調いがた3人、公明2人の賛整している。

国や東電は6号機の早期再稼働を目指す。東電は設備検査の最終チェックを受ける「使用前確認」を24日にも原子力規制委員会に申請する見込み。原子炉を起動して再稼働させる日程は、来年1月20日を軸に調